

6. 基盤施設計画の検討 (1) 駅前広場

②東口駅前広場のケーススタディ

1) 東口駅前広場拡張の考え方

公共交通動線や新空港線「蒲蒲線」整備等の観点から、まずは南側方向への拡張が考えられる。

① 東側に拡張	長所	<ul style="list-style-type: none"> <li>東西方向の駅前広場が拡幅され、道路の付け替えによってはバスのUターンが容易になる。</li> </ul>
	短所	<ul style="list-style-type: none"> <li>通過交通動線が駅前広場内を貫く形状になる。</li> <li>通過交通部分を東側に寄せた場合、駅街路2号線へのつながりに支障がある。</li> </ul>
② 西側に拡張	長所	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅ビルの足元空間の利用等により、駅ビル側の歩行者空間の改善が図れる。</li> </ul>
	短所	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅ビル耐震改修工事が終了して間がなく、中長期的な対応になる。</li> </ul>
③ 南側に拡張	長所	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅ビルに対して南北の広がりバランスがよい</li> <li>現状と同様の動線確保が可能である。</li> <li>新空港線「蒲蒲線」整備に関連して駅前広場の更なる拡張が考えられる。</li> </ul>
	短所	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅ビル荷捌き場への出入りに支障がある。</li> </ul>
④ 北側に拡張	長所	<ul style="list-style-type: none"> <li>北側東西連絡橋を設置する場合の地上取付部として活用できる。</li> </ul>
	短所	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅出入口より北側に偏り歩行者動線との連携が悪い。</li> <li>補助36号線との交差部の交通処理が複雑になる。</li> </ul>

2) 駅前広場に必要機能

優先度が高い施設	<b>■歩行者空間</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>駅前広場内を安全・快適に移動するための歩行者空間</li> <li>京急蒲田駅方面やアロマスクエア方面への歩行者動線</li> </ul>	<b>■バス待機場</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>路線バスの起終点であり、時間調整等の場としてのバス待機場</li> </ul>
	<b>■バス乗降場</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>バスと鉄道駅の結節機能強化のためのバス乗降場</li> </ul>	<b>■タクシー待機場</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>駅街路2号線に伸びている客待ちの滞留を収容するタクシー待機場</li> </ul>
	<b>■タクシー乗降場</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>羽田空港利用者、高齢者等の多様な利用者の移動のためのタクシー乗降場</li> </ul>	
	<b>■一般車乗降場</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>送迎利用者等、地域の住民の利便性向上のための一般車乗降場</li> </ul>	

3) 駅前広場を南側に拡張した場合の配置案

配置イメージ図	① 現状改善案(ロータリー案)		<b>概要</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>現在の駅前広場と同様のロータリー式で乗降場を再配置し、バス降車場を駅前広場内に集約する案</li> </ul>
	<b>特性</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>バス降車場を集約</li> <li>バス、タクシー、一般車について駅前広場での転回が容易</li> </ul>	<b>課題</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>現状よりも駅ビル前の歩道幅員は広がっているが、広場内のバス乗降場が増えたため、更なる拡充が必要</li> <li>補助36号線にバス乗降場が残り、補助36号線の歩行者環境は現状と大きく変わらない</li> <li>タクシー待機場の不足分について隔地での確保が必要</li> </ul>	
配置イメージ図	② バス乗降場集約案(アイランド案)		<b>概要</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>駅前広場内にアイランドを設置し、バス乗降場を全て集約する案</li> </ul>
	<b>特性</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>補助36号線の歩行者環境が改善</li> <li>バス乗降場を集約</li> </ul>	<b>課題</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>現状よりも駅ビル前の歩道幅員は広がっているが、広場内のバス乗降場が増えたため、更なる拡充が必要</li> <li>駅前広場を横断する歩行者とバス利用者の動線が重複し、車道の横断も増えるため、歩行者の負担が増加</li> <li>タクシー待機場について隔地での確保が必要</li> <li>一般車両の駅前広場への進入</li> </ul>	

※ ロータリー案とアイランド案の基本的な形状でスタディしたものであり、今後、蒲田の実状に合わせた更なる検討が必要である。